

CONTENTS

第1章 悪評だらけの「仕組み債」。 何故それほどまでに叩かれる？

- 1-1. 「日経平均が4割下がらなければ高い金利がもらえます」
- 1-2. “ネットバブル”時から個人も買いやすい商品に
- 1-3. 販売規制強化の一方で、多様化する商品バリエーション

第2章 “高金利”の理由。その“金利”は 普通の「金利」ではないこと

- 2-1. 仕組み債の根幹は「オプション」という保険に似た商品
- 2-2. 仕組み債を買う投資家は「オプションの売り手」の立場
- 2-3. 「早期償還条項」がついている日経リンク債の基本構造
- 2-4. 「プット・オプションの買い手」は一体どこの誰なのか

第3章 リスクに見合う利率は何%なのか？ 日経リンク債・デュアル・カレンシー債 リスク・リターン大検証！

- 3-1. 仕組み債を買う投資家は「著しく不利」な立場なのか
- 3-2. 勝率ならオプションの売り手は買い手より圧倒的有利！
- 3-3. 早期償還条項付き日経リンク債のリスクに見合う“妥当な利率”
- 3-4. 満期までの期間が長くても利率がさほど高くないのはなぜ？
- 3-5. 「デジタル・クーポン型」はさらに高い利率が必要！
- 3-6. 「デュアル・カレンシー債」リスク・リターンの考え方
- 3-7. 「このパターンは要注意！」のデュアル・カレンシー債の例
- 3-8. その仕組み債は有利か不利か。見極めのポイントはここにある

第4章 「大損ネタ」のウラには それ相応の事情がある。 ～痛すぎる投資。その敗因とは～

- 4-1. なぜ“仕組み債で儲かった”話が全く聞こえてこないのか
- 4-2. “抜かれるコスト”の大きさは他の金融商品も似たり寄ったり
- 4-3. 構造は複雑怪奇。しかし商品内容は罪深いほど「単純明快」
- 4-4. 痛しかゆしの早期償還条項。投資家にとってメリットなのか
- 4-5. “自動勝ち逃げシステム”はあるが、「負け逃げ」が許されない
- 4-6. 仕組み債の新規発行が相次ぐ状況。その先に待っているものとは

第5章

【それでも高金利が欲しい！】 ならば、リスクを減らす 策と手段を準備する

- 5-1. 仕組み債には「買ってはいけない時期」がある
- 5-2. この相場局面なら日経リンク債も「注目できる投資対象」に
- 5-3. 上昇相場の中で投資するなら「期間1年」に限る
- 5-4. 「日経平均先物」売りが日経リンク債の逃げ道になる
- 5-5. FXはデュアル債のヘッジに使える。ただし、豪ドルはコスト高
- 5-6. EB債が株券償還しそうなら信用取引の「売り」で対応する
- 5-7. 高格付けでも安心できない！発行体のデフォルト・リスク

巻末 プラスα 情報

仕組み債をもっとよく知るための オプション取引の基礎知識

<その1>オプション取引「基本の[き]」

- ① 権利だけを売買するメリットは何？
- ② 権利行使価格とオプション価格の関係
- ③ 実際のオプション価格は何によって動くのか
- ④ オプションの買いは宝くじ的な要素もある
- ⑤ 「オプションの売り」ならではの特徴とは
- ⑥ 日経 225 オプションをやってみたいなら
- ⑦ オプションの「理論価格」とは何か
- ⑧ 市場が荒れると取引価格は理論と乖離する

<その2>損失被害報道が相次ぐ「為替デリバティブ取引」とは

- ① 為替デリバティブ取引の基本構造
- ② 「いとも簡単に儲かる」と思いたくなる設計
- ③ 相手方だけが“負け逃げ”できる仕組み
- ④ 「自業自得」のケースはおそらく少なくない